

第1日 6月17日(土)

10:00~11:10 WiPセッション
オンライン

視聴：1404教室 (発表者は1409教室)

10:00~10:20 イタリアにおける地域少数言語推進政策—ラディン語の事例から—
内藤由佳 (パヴィア大学)

10:25~10:45 L2言語不安とポライトネス理論—小説中における断り表現を中心に—
吉田雅人 (神田外語大学)

10:50~11:10 日本語歴史コーパスによる皇室敬語の言語政策効果の検証
杉森典子・ウィリアム・ショー (Kalamazoo College)

視聴：1405教室 (発表者は1410教室)

10:00~10:20 大学地域連携による異和共生のための西浦プロジェクト
竺原来美・小山遼人・西村美緒・内井聖祐・山崎梨奈・松村裕太・塚本結愛 (龍谷大学・村田ゼミ)

10:25~10:45 国際共修—内なる国際化を目指して—
谷川空良・西角柚月・橋本幸奈・羽田和生・松本陸・山根凜 (龍谷大学・村田ゼミ)

10:50~11:10 つなげる外国人家族と地域社会—空間に関わる人々とのやりとりから分かったこと—
崔玉瑤・渡邊由貴・木暮芽衣 (筑波大学・井出ゼミ)

12:45~13:00 開会式 1503教室

開会の辞・趣旨説明
山川和彦 (会長・麗澤大学)

13:00~14:00 基調講演 1503教室

『今こそ、集合知』で広がったバーチャルとリアルの世界—教材配信サイトTeach Uの取組—

後藤匡敏 (熊本大学教育学部附属特別支援学校)

14:05~16:05 シンポジウム
1503教室

言語政策と「空間デザイン」

◆言語・コミュニケーション研究からの「まぶくり」—2つの事例から考える
村田和代 (龍谷大学)

◆保育の場におけるかわりあいと対話のデザイン—茨城県つくば市のフィールド調査から
井出里咲子 (筑波大学)

◆国フェスにおける多言語の調整と共存—駅前広場開催のベトナムフェスティバルの事例から
猿橋順子 (青山学院大学)

ディスカッサント：岡本能里子 (東京国際大学)
司会：山川和彦 (麗澤大学)

第2日 6月18日(日)

一般発表

Table with 5 columns (A-E) and 4 rows of presentations. Includes titles, authors, and institutions for various topics like multilingualism, language policy, and education.

11:15~12:30 ポスター 1410教室

- [P-1] 地方における産学官連携しての留学生獲得方略を巡って—離島を活用した短期研修の可能性—
[P-2] 戦争とことばの不可分な関係性を知る試み—新たな言語観を育むための日本語教育実践—

12:30~13:00 学会賞授与式・総会 (昼食持参でご参加ください) 1405教室

パネル

Table with 3 columns (13:05-14:35, 13:05-14:35, 14:40-16:10) and 3 rows of panel discussions. Topics include language policy, teacher education, and research.

●日時 2023年6月17日(土)~18日(日)
●会場 麗澤大学 校舎かえで 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1
●参加費 会員・大学院生 1,000円
●主催 日本言語政策学会

※発表順などプログラムは変更される可能性があります。最新情報は上記学会HPをご覧ください。
※大会当日の昼食はご持参いただくか、開催校近くのコンビニ等をご利用ください。
※お問い合わせ jalp.taikai@gmail.com

